

# はじめに

1. 計画の策定に向けて
2. 計画期間と将来人口推計
3. 計画の構成

# 1

## 計画の策定に向けて

基本計画は、仙台のまちづくりの指針です。  
この計画では、仙台の目指す都市の姿と、  
その実現に向けた施策の方向性を示しています。

※1：協働  
複数の主体が、同じ目的のために、対等の立場で共に協力して活動すること。

市民一人ひとりの主体的な行動と、多くの方々による協働<sup>※1</sup>の積み重ねによって私たちのまちが形づくられてきたように、先を見通すことが困難なこれからの時代においても、まちづくりの歩みをともに進めていくため、この計画を策定します。

※2：グローバル  
地球規模、世界的規模である様子。その対として、ある地方に限定されていることを示す「ローカル」という言葉がある。

日本はすでに人口減少が始まっており、  
仙台の人口も減少局面を迎えます。  
そのような状況や、この先も起こり得る急激な社会の変化に対しては、ローカルとグローバル<sup>※2</sup>の両面の視点を持ちながら、柔軟に適応していくことが求められます。  
戦災や東日本大震災<sup>※3</sup>からの復興などを経て培ってきた、安全に、安心して暮らせるまちを基盤として、  
仙台が誇る強みをさらに磨きあげながら、  
多くの方々から選ばれるまちを目指します。

※3：東日本大震災  
2011年3月11日14時46分に、三陸沖の宮城県牡鹿半島の東南東130km付近で発生した、深さ24kmを震源とする地震を起因とした災害。マグニチュードは、1952年のカムチャツカ半島沖地震と同じ9.0で、日本国内観測史上最大規模、アメリカ地質調査所（USGS）によれば、1900年以降、世界で4番目の規模。

この計画で私たちは、まちづくりの大きな理念を掲げます。  
一人ひとりが持つ多様な価値観や経験を結集し、都市の活力に変えていくため、この理念を広く共有し、互いに連動しながら行動していきます。

誰もが心豊かに暮らすことができる未来に向けて、  
先人が培ってきた資産や知恵を余すことなく活かし、  
多様な主体が持てる力を十分に発揮できる「新たな杜の都」として、  
仙台に関わるすべての方々とともに挑戦を続けていきます。

# 2

## 計画期間と将来人口推計

### (1) 計画期間

基本計画の期間は10年間とし、初年度を令和3（2021）年度、目標年次を令和12（2030）年度とします。

まちづくりの長期的な指針となるものであるため、目指す都市の姿については、21世紀半ば（2050年頃）を見据えるものとします。

具体的な目標と事業を定める「実施計画」は、「基本計画」の期間を3つに分割し、概ね3年間とします。

※「基本計画」と「実施計画」をあわせたものを「総合計画」と呼びます。

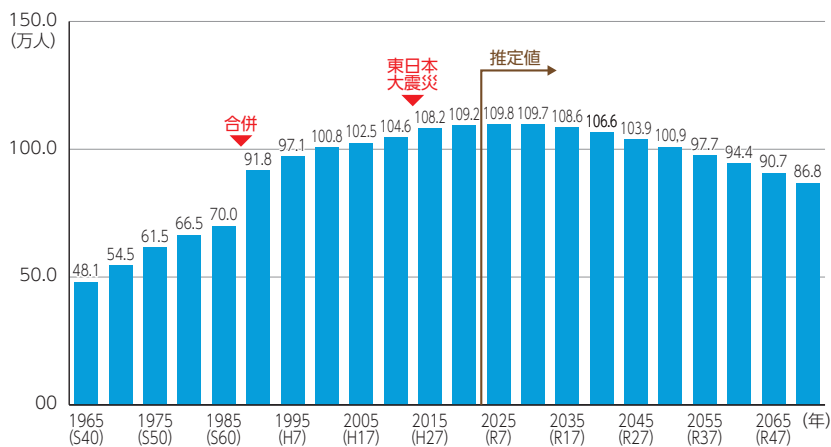
### (2) 将来人口推計

仙台市の人口は近い将来にピークを迎えた後、緩やかに減少を続け、2050年から2055年にかけて100万人を割り込む見込みです。少子高齢化が進み、人口構成も変わることが予想されます。

基本計画期間中に市全体の人口が大きく減少する可能性は低いと予測していますが、人口動態<sup>※4</sup>は地域によって様々であり、地域特性に応じたきめ細かな対応が必要です。また、人口減少が進む中であっても、まち全体の活力を生み出すための取り組みが重要です。

※4：人口動態  
ある一定期間内の人口の変動。  
ここでは、出生・死亡に伴う変動と転出・転入に伴う変動を指す。

図：仙台市の将来人口推計図



出典：2015（H27）年までは「国勢調査結果（総務省統計局）」、2020（R2）年は10月1日時点の推計人口、2025年以降は仙台市まちづくり政策局資料。

注：2020（R2）年10月1日時点の推計人口をもとに、コーホート要因法により本市が独自に推計。合計特殊出生率及び社会移動率については、過去の傾向を勘案し、それぞれ1.26で一定で推移、および年1.13%ずつ減少するものと仮定。

## 3

## 計画の構成

これからのまちづくりを進めるにあたっては、仙台が持つ強みを活かし、協働と挑戦を重ねながら、新しい価値を創造していく姿勢こそが大切であるという考えのもと、本計画を構成しています。

まず、「新たな杜の都に向けて」では「まちづくりの理念」として、新たなまちづくりに向けた考え方を示します。そして、これまで培ってきた仙台の都市個性を見つめ直し、それぞれの都市個性を深化させた「目指す都市の姿」を掲げます。

次に、「チャレンジプロジェクト」では、私たちが知恵や技術を持ち寄ってチャレンジを続けながら、重点的に取り組むプロジェクトを示します。また、「地域づくりの方向性」では、複雑化・多様化する地域の実情に応じた地域づくりの方向性を示すとともに、地域のより詳細な特性を踏まえ、「区ごとの地域づくりの方向性」を示します。

「未来をつくる市政運営」では、市政運営の基本姿勢や都市構造形成の方針、仙台市役所が多様な主体との協働などを通じて取り組む施策を示します。最後に、「計画の推進」では、基本計画の推進に向けた取り組みや進行管理の方針を示します。

<構成図>

